

日本薬局方 沈降炭酸カルシウム錠

# 炭カル錠「ヨシダ」250mg

# 炭カル錠「ヨシダ」500mg

Tankaru Tablets「Yoshida」

貯法：室温保存

有効期間：3年

	250mg	500mg
承認番号	21200AMZ00632000	21300AMZ00063000
販売開始	2001年7月	2000年3月

## 2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

甲状腺機能低下症又は副甲状腺機能亢進症の患者〔血中カルシウム濃度の上昇により病態に悪影響を及ぼすおそれがある。〕

## 3. 組成・性状

### 3.1 組成

販売名	炭カル錠「ヨシダ」250mg	炭カル錠「ヨシダ」500mg
有効成分（1錠中）	日局沈降炭酸カルシウム250mg	日局沈降炭酸カルシウム500mg
添加剤	ヒドロキシプロピルセルロース、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム	

### 3.2 製剤の性状

販売名	炭カル錠「ヨシダ」250mg	炭カル錠「ヨシダ」500mg	
性状	白色の素錠	白色の素錠	
外形	表面		
	裏面		
	側面		
直径(mm)	7.5	9	
厚さ(mm)	3.6	4.8	
重さ(mg)	265	530	
識別コード	YO CC2	YO CC1	

## 4. 効能又は効果

下記疾患における制酸作用と症状の改善：

胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）

## 6. 用法及び用量

沈降炭酸カルシウムとして、通常成人1日1～3gを3～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 9. 特定の背景を有する患者に関する注意

### 9.1 合併症・既往歴等のある患者

#### 9.1.1 心機能障害、肺機能障害のある患者

心機能障害、肺機能障害を悪化させるおそれがある。

### 9.1.2 便秘のある患者

便秘を悪化させるおそれがある。

### 9.1.3 高カルシウム血症の患者

高カルシウム血症を更に悪化させるおそれがある。

### 9.2 腎機能障害患者

カルシウム・リン代謝異常を起こすおそれがある。

### 9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

### 9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

### 9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

## 10. 相互作用

### 10.2 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 ・テトラサイクリン ・ミノサイクリン等 ニューキノロン系抗菌剤 ・シプロフロキサシン ・トスフロキサシン等 エチドロン酸二ナトリウム 鉄剤	これらの薬剤の吸収を阻害し、効果を減弱させることがある。両剤の服用間隔を2時間以上あけるなど注意すること。	これらの薬剤はカルシウムイオンと消化管内で難溶性のキレートを形成し、吸収が阻害されることがある。
高カリウム血症 改善イオン交換樹脂製剤 ・ポリスチレンスルホン酸カルシウム ・ポリスチレンスルホン酸ナトリウム	これらの作用を減弱させるおそれがある。また、併用により全身性アルカローシスがあらわれたとの報告がある。	カルシウムイオンがこれらの薬剤の陽イオンと交換するためと考えられる。
ジギタリス製剤 ・ジゴキシン ・ジギトキシン等	ジギタリス製剤の作用を増強し、ジギタリス中毒を起こすおそれがある。ジギトキシン血中濃度の測定や電解質測定を行うなど、観察を十分に行い、慎重に投与すること。	カルシウムは強心配糖体の心筋収縮力を増強する。本剤の投与により血中カルシウム濃度が上昇するとジギタリス中毒が発現しやすくなる可能性がある。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
大量の牛乳	milk-alkali syndrome (高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等) があらわれるおそれがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	機序不明
活性型ビタミンD製剤 ・アルファカルシドール ・カルシトリオール ビタミンD	高カルシウム血症があらわれるおそれがある。	腸管からのカルシウム吸収が増大するため。
ロキサデュスタット	ロキサデュスタットと併用した場合、ロキサデュスタットの作用が減弱するおそれがあるため、併用する場合は、前後1時間以上あけて本剤を服用すること。	ロキサデュスタットを酢酸カルシウムと同時に投与したところ、ロキサデュスタットのAUC <sub>inf</sub> が低下した。

## 11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

### 11.2 その他の副作用

	頻度不明
代謝異常	高カルシウム血症、アルカローシス等の電解質失調
長期・大量投与	腎結石、尿路結石
消化器	悪心、嘔吐、便秘、下痢、胃酸の反動性分泌等
過敏症	そう痒感

## 14. 適用上の注意

### 14.1 薬剤交付時の注意

PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することがある。

## 18. 薬効薬理

### 18.1 作用機序

沈降炭酸カルシウムは不溶性カルシウム剤の1種で制酸作用を呈し、また吸着作用も現すので胃潰瘍及び胃酸過多症に制酸薬として用いる<sup>1)</sup>。

18.2 炭カル錠「ヨシダ」500mg2錠は0.1mol/L塩酸約200mLを中和する能力がある<sup>2)</sup>。

## 19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：沈降炭酸カルシウム (Precipitated Calcium Carbonate)

分子式：CaCO<sub>3</sub>

分子量：100.09

性状：白色の微細な結晶性の粉末で、におい及び味はない。水にほとんど溶けないが、二酸化炭素が存在すると溶解性を増す。エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。希酢酸、希塩酸又は希硝酸に泡立って溶ける。

## 22. 包装

〈炭カル錠「ヨシダ」250mg〉

PTP包装：100錠(10錠×10)

〈炭カル錠「ヨシダ」500mg〉

PTP包装：100錠(10錠×10)

## 23. 主要文献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書. 廣川書店. 2021. C-3124-C-3125
- 2) 吉田製薬株式会社 社内資料：制酸力試験

## 24. 文献請求先及び問い合わせ先

吉田製薬株式会社 学術部  
〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10  
TEL 03-3381-2004  
FAX 03-3381-7728

## 26. 製造販売業者等

### 26.1 製造販売元



**吉田製薬株式会社**  
埼玉県狭山市南入曽951